事業所名　波の家こども発達センター（児童発達支援）

支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　10 日

法人（事業所）理念		Our Task Spirits　－For the 50years after－ ・Pride　福祉にたずさわる人間として、自分自身にほこりをもてる「仕事」をする。 ・Contribution　「自分の働き」によって、社会貢献できているという実感が持てる「仕事」をする。 ・Cooperation＆Comfortable　価値観を共有するすべてのスタッフが、働きやすい職場を作り、各自が協力し、助け合って「仕事」をする。 ・Process＆Effect　常に前向きに、個人としても組織としても成長を望み、ひたすら地道な努力を続け、内部・外部の 人から必要とされ、尊敬される「仕事」をする。		
支援方針		○お子さんにとって居心地の良い環境を考え、様々なカリキュラムや体験を行い、お子さんの可能性を広げる役割を果たします。 ○お子さんの発達に応じて、専門職の個別療育や集団での療育プログラムに取り組んでもらい、就学・就園に向けて発達を促していきます。 ○お子さんが、同世代で楽しく関りを持てる居場所を作っていきます。		
営業時間		9 時　30　分から　17 時　30　分まで	送迎実施の有無	あり　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・基本的な生活スキルを獲得し、生活リズムが整うように支援していきます。 （食事・排せつ・更衣・片付け等お子さんの発達に応じた対応を行います） ・お子さんの発達や健康状態を把握し、健康で安全に生活できるようにサポートします。 ・視覚的なサポートを行うことで、お子さんの理解に繋げていきます。 ・お子さんの状況に応じて、調理実習やお買い物実習も取り入れております。		
	運動・感覚	・粗大運動や微細運動を取り入れた集団療育プログラムを通して、基本的な動作の向上を促していきます。 ・視覚、聴覚、触覚等を十分活用できるよう遊び等を通して、お子さんの感覚の発達を促します。 ・楽しみながら集団で身体を動かす機会を提供していきます。 ・力を加減する働きやボディイメージを意識したカリキュラムを設定することで身体の使い方を意識してもらいます。		
	認知・行動	・視覚支援を行い、1日の見通しをもった活動ができるように支援していきます。 ・色や数字など興味の幅を広げられるようなカリキュラムを提供していきます。 ・ブロック遊びなど空間認識能力を高めていけるように働きかけていきます。		
	言語 コミュニケーション	・お子さんの発達に応じて、絵カード等を用いてことば以外の非言語コミュニケーションが取れるように支援していきます。 ・専門職の個別療育を通して、SSTなど個々の課題について働きかけていきます。 ・お子さんの発達に応じて、言語の習得を促していきます。 ・集団活動していく中で、相手とのやり取りを通じて適切な声掛けの仕方を学んでもらいます。		
	人間関係 社会性	・支援者と安心して関わる環境を設定し、愛着の形成を行えるように関りをもちます。 ・遊びを通して、ルールや順番を守るなど他者との関わり方を学びます。 ・気持ちのコントロールの仕方を学び、切り替えをしていけるように支援していきます。		
家族支援		・ご家族と連携をとり、不安や困りごとに寄り添い、相談・サポートする事で安心に繋げていきます。 ・保護者会の機会を設定し、ペアレントトレーニングや他の保護者とお話する機会を提供していきます。	移行支援	・園や学校と連携を取り、支援内容や支援方針を共有します。 ・移行先とも必要に応じて情報共有を行い、本人が安心して次の移行先に進めるようにサポートしていきます。
地域支援・地域連携		・学校や相談支援事業所、他事業所等必要に応じて連携していきます。	職員の質の向上	・法人内（児童施設）で定期的に合同で技術向上の為の研修会の実施をしています。 ・事例検討会を行い、適切な支援を検討する勉強会を実施しています。 ・その他各委員会からの研修、会議を行い職員全員での情報共有を行っています。 ・法人オリジナルの療育教材の研修動画を活用し、支援の幅を広げています。
主な行事等		・季節ごとのレクリエーション（夏祭り、クリスマス会等）を毎月行っています。 ・外出レクリエーションなど安全に配慮しながら、ステップアップで課外活動を行っております。 ・親子ふれあい会（運動会）を年に１回、法人内の他施設と合同で行っています。 ・毎月誕生日会を行い、皆でお祝いをします。		

事業所名　波の家こども発達センター（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　10 日

法人（事業所）理念		Our Task Spirits　－For the 50years after－ ・Pride　福祉にたずさわる人間として、自分自身にほこりをもてる「仕事」をする。 ・Contribution　「自分の働き」によって、社会貢献できているという実感が持てる「仕事」をする。 ・Cooperation＆Comfortable　価値観を共有するすべてのスタッフが、働きやすい職場を作り、各自が協力し、助け合って「仕事」をする。 ・Process＆Effect　常に前向きに、個人としても組織としても成長を望み、ひたすら地道な努力を続け、内部・外部の 人から必要とされ、尊敬される「仕事」をする。		
支援方針		○お子さんにとって居心地の良い環境を考え、様々なカリキュラムや体験を行い、お子さんの可能性を広げる役割を果たします。 ○学校と連携し、本人が学校に楽しく通える為のサポートを行います。また、不登校でも本人が楽しく過ごせる居場所を提供し、本人の安心に繋げていきます。 ○お子さんが、同世代で楽しく関りを持てる居場所を作っていきます。		
営業時間		9 時　30　分から　17 時　30　分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・身だしなみや持ち物の準備・片付け等、基本的な生活スキルを獲得できるように支援していきます。 ・お子さんの発達や健康状態を把握し、健康で安全に生活できるようにサポートします。 ・視覚的なサポートを行うことで、お子さんの理解に繋げていきます。 ・日常生活に必要な、調理実習やお買い物実習も取り入れております。		
	運動・感覚	・粗大運動や微細運動を取り入れた集団療育プログラムを通して、基本的な動作の向上を促していきます。 ・視覚、聴覚、触覚等を十分活用できるよう遊び等を通して、お子さんの感覚の発達を促します。 ・楽しみながら集団で身体を動かす機会を提供していきます。 ・力を加減する働きやボディイメージを意識したカリキュラムを設定することで身体の使い方を意識してもらいます。		
	認知・行動	・視覚支援を行い、1日の見通しをもった活動ができるように支援していきます。 ・時間の概念や読解力など学校生活で必要な知識を広げられるようなカリキュラムを提供していきます。 ・毎月の季節ごとや外出等のレクリエーションを通して、四季を感じたり社会的なマナー等を理解できるようにサポートしていきます。		
	言語 コミュニケーション	・カリキュラムの中で発表する機会をもうけて、気持ち等を言語で表出する場面を設定していきます。 ・同年代との集団活動の中で、相手とのコミュニケーションについて学べるように支援していきます。 ・他者と適切なコミュニケーションを取る為に必要な言語の習得に、繰り返し働きかけていきます。 ・困った時の伝え方について、個別にSSTを行い表現の仕方について学べるように支援していきます。		
	人間関係 社会性	・他者と協調するルールがある遊びを通して、他者との関わり方を学びます。 ・同年代など他者とのやり取りの中で適切な社会性を獲得できるように支援していきます。 ・気持ちのコントロールの仕方を学び、切り替えをしていけるように支援していきます。		
家族支援		・ご家族と連携をとり、不安や困りごとに寄り添い、相談・サポートする事で安心に繋げていきます。 ・保護者会の機会を設定し、ペアレントトレーニングや他の保護者とお話する機会を提供していきます。	移行支援	・学校や相談支援事業所と連携を取り、必要に応じて情報提供や必要なスキル獲得に向けて働きかけます。 ・不登校や学校に通うにあたって問題がある場合は、より一層保護者と学校側と連携を取り、本人の安心つなげていけるようにサポートしていきます。
地域支援・地域連携		・学校や相談支援事業所、他事業所等必要に応じて連携していきます。	職員の質の向上	・法人内（児童施設）で定期的に合同で技術向上の為の研修会の実施をしています。 ・事例検討会を行い、適切な支援を検討する勉強会を実施しています。 ・その他各委員会からの研修、会議を行い職員全員での情報共有を行っています。 ・法人オリジナルの療育教材の研修動画を活用し、支援の幅を広げています。
主な行事等		・季節ごとのレクリエーション（夏祭り、クリスマス会等）を毎月行っています。 ・特に長期休み等は、外出レクリエーションなど安全に配慮しながら、課外活動を行っております。 ・毎月誕生日会を行い、皆でお祝いをします。		